

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
朝日	1	ふるさと納税のメリットは？	村上市に寄付していただくことによって、その額に応じて返礼品を送っている。また、自分が住む市町村の納税が2割減免される制度である。全国どこの自治体に寄付しても納税が軽減される。返礼品はその自治体によって違う。市外の人にPRしている。
朝日	2	奥三面ダムや鳴海金山など観光資源があるが、道路閉鎖により1年間のうち半分くらいしか行ける期間がない。また、大型観光バスが通れない観光資源はいかがなものか。道路がよくないと観光客が行けない。	観光のニーズが、大型バスで回るより、少人数でコンパクトな形が多くなっている。大型バスが通れるしっかりとした道路がなくても観光客を呼び込むことは可能と考える。ただし、きれいな道路にしておくことは生活基盤を築くための側面からも大切なことなので、引き続き取り組んでいく。
朝日	3	私はビーチボールをしているが、日本ビーチボール協会から村上市で全国大会をやりたいと要請がある。現在の村上市のスポーツ施設のキャパでは間に合わない。全国から2000人以上の選手がやってきて宿泊もする。経済的にも潤うので、スポーツ観光も視野に入れて市内に大きな体育館を建ててほしい。	各地区に同じようなスポーツ施設が整備されており、当然老朽化していく。それをすべて直していくとか、全国大会を誘致するためにその規模のものを作って今後も維持していくとか、その見込みを研究したい。スポーツ施設整備計画という形で教育委員会で検討していく。施設の在り方について整理し、集約できるものは集約して新たなものとしてニーズに応えられるように造り上げていく仕組みが必要である。荒川の体育館の老朽化による改築の件も、その後どうしていくのかを深く考えなければならない。スポーツ施設の必要性は承知しているので、市内の全体のバランスを考えながら検討したい。
朝日	4	若い人が結婚しないので困っている。結婚してもいい年齢なのにしない。手立てをお願いしたい。	ある程度の生活ができていれば結婚しなくてもいいという感覚を持っている人も見受けられる。私たちが育ってきた感覚と違うものを持っていると感じる。婚活や出会いの場の提供を長い目で見ていくのも1つの手法であると考え。また、学業や就職で市外に出ている人を呼び戻す仕組みができればすそ野が広がるので効果的であると考え。呼び戻すには村上市が魅力的でなければならない、働き口がなければならない。これまでもやってきたがまだまだ足りない部分もあるので取り組んでいきたい。具体的に動いて行きたい。ここで暮らしたいと思えるまちづくりを進めたい。
朝日	5	朝日には高齢者の通院・買い物のお迎えをしているボランティア団体がある。24、5人いる。このような団体があれば、公共交通がなくともやっていけるのではないか。	市民に寄り添った効果的な仕組みだと思う。しかし、地域によってはスタッフを集められないところもある。このようなサービスの在り方と公共交通のサービスの在り方があって、地域の特性に合わせた公共交通を入れた方が効果的ではないかと考えている。運転に自信がない人でも自分の足で公共交通を利用して通院や買い物をすれば健康寿命も延びると考える。ぜひともに歩んでいかせていただきたい。
朝日	6	指定管理に困っている。私はシルバー人材センターの理事をしているが、指定管理をしているところには我々はいれない。その辺を市長はどう考えているか。	競争する部分はあると思うが、受け皿のキャパと、市が考える公共施設の管理の在り方の整合性を取りながら進める事が大切であり、それを踏まえて指定管理に出している。合併時1,000人いた職員が760人まで減っている。職員が対応できる範囲は限られるので、そこは民間の力を借りなければならない。行政サービスのレベルを維持しながらいろいろなやり方で進めていく。今後も分野により民間や組織に依頼することを選択していく。
朝日	7	空き家がそのままになっていて連絡が取れない人がいる。雪下ろしの際に困る。個人の所有物なので簡単に手は付けられないのは分かるが何とかならないものか。	悩ましい問題である。国でも法律改正したが、なかなかすぐ着手できない。市内に同じ状況の空き家がたくさんある。解体する経費はだれが持つのかという問題もある。それが行政の仕事かは疑問である。そのままにしておけないのは承知しているが、直接行政が手をかけるのは難しいということはご理解いただきたい。高齢者世帯への雪下ろしの助成も行っている。それで間に合わない部分もあるのでボランティアや民間の力を借りて仕組みづくりを進めていきたい。

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
朝日	8	高齢世帯の雪下ろしの件で、親せきなどが近くに住んでいるにもかかわらずシルバー人材センターに頼むという安易な気持ちの人がいるため、シルバー人材センターでは雪下ろし作業をやめた。高所作業のため危険もある。その辺を市役所ではどう考えているか。	雪下ろしだけでなく、生活の色々な場面で、他の人の手を入れないと生活が成り立たないところがある。若い人やNPO法人の力を借りて進めていきたい。これまでの施策の中でうまく機能したもので、そうでないものの検証をしているので、いい形で提供できるように進めたい。雪おろしであれば「災害」のような形にできれば、すぐに出動できる仕組みも考えられると思っている。中越地方の雪の深いところだと関東方面から雪下ろし隊のような組織が入ってくる。そんなところにも期待しながらいい仕組みづくりを進めたい。
朝日	9	中新保は昔は21軒あったが今は18軒でそのうち1軒は空き家になっている小さい集落である。高齢世帯もあり集落の維持が困難になりつつある。支所には引き続き支援をお願いしたい。	隣近所や集落で思いやりの心を持ちながら、つながりながら暮らしているみなさんの生活を支えるのが行政の役割だと思う。きめ細やかにしっかりやりたいと思う。予算の面も含めてすぐに対応できる仕組み作りをしていきたい。
朝日	10	小学校の統廃合の件で、早く大きい学校に行って子どもたちが大勢の中で勉強できる環境を整えるべきである。	一刻も早くと考えている。地域の中核施設である学校がなくなるのはさみしいし地域が疲弊するのではないかという考えもあるが、子どもたちのためにこの状況を解消したい。時期的なことは言えないが一刻も早くと考えている。